



ユーマラスでパワフル 無病息災を祈る御神楽

古田の獅子舞は、明治時代の末に大分県から椎茸の栽培のため古田地区に移住してきた、川野幸太郎、石井又蔵両氏が地区民に伝えられたものとされています。

大正3年に大正天皇御即位記念として初めて披露され、以来毎年10月の第3日曜日に行われる豊受神社の願成就に御神楽として奉納されている祭りです。

獅子2人と天狗と猿2人に加え、10余名の笛吹、2人の太鼓打ちなど総勢18〜19名で奏楽して舞う勇壮な獅子舞で、はじめは獅子と天狗が激しく闘い「ホース」という掛け声を発して気合を入れ、緊張感が高まります。後半、獅子は弱まり

残したい
伝統芸能



第3回



【種子島 西之表市】

県指定文化財

古田獅子舞

鹿児島に古くから伝わる地域の祭りや伝統行事。
今回は種子島 西之表市で行われる「古田獅子舞」をご紹介します。



鳴物は太鼓、小太鼓(二人で交互に叩く)で、横笛は古田に自生しているニガタケを使った手製のものが使われています。

ますが、最後は甦り、引き分けの形になります。獅子が子どもの頭を噛むと魔除けになるといふ言い伝えから、獅子は舞が済んだ後、観客の前を練り歩いていきます。獅子の姿態、舞の構成、舞方、奏楽など、一つの手を加えることもなく、忠実に伝承されています。

獅子舞に始まり、獅子舞に終わる古田の願成就は、ユーマアにあふれ、見る人に元気を与えてくれる祭りです。



古田豊受神社境内

開催日： 10月15日 (毎年10月の第3日曜日)
住 所： 西之表市古田豊受神社境内
交 通： 西之表港より車で13分
種子島空港より車で10分
駐車場： 無料(10台) 古田中央公民館周辺
TEL： 0997-23-3215
種子島開発総合センター「鉄砲館」